

第2回 学校活性化協議会 議事概要

日 時	平成30年9月19日（金）19時00分から21時20分
場 所	三重県立白山高等学校 会議室
出席者 (敬称略, 50音順)	赤塚久生（白山高等学校長）・岩崎忠弘（同窓会）・垣野哲也（津市交通政策課）・ 小西正彦（白山高等学校教諭）・田中伸明（三重大教育学部教授）・ 寺井一栄（リバーパーク真見管理組合）・服部 滋（白山中学校教諭）・ 丸山康郎（美杉中学校長）・山下潤子（白山教育事務所）・吉田健一（学校運営協議会）
議 事	1 平成30年度活性化プランに基づく進捗状況について 2 県外からの入学志願制度について
議事概要	<p>白山高等学校の活性化に係る平成30年度活性化プランに基づく進捗状況等について、協議を行いました。</p> <p>主な内容等は、次のとおりです。</p> <p>1 挨拶</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 御承知のとおり、本校は夏の甲子園大会に出場することができました。このことは生徒や教職員ともに、貴重な経験になったと思います。また、学校活性化協議会の委員の皆様におかれましても、それぞれのお立場で、あるいは個人で甲子園の出場に対して、御声援と御支援を賜り、誠にありがとうございました。甲子園に出場することで、学校活性化協議会でも御意見をいただいております。地域とのつながり、部活動の活性化、広報活動の三つの柱を大きく進めることができたと思っております。地域のつながりという点におきましては、今回の出場にあたって、白山町の自治会を中心に、多大なる御支援をいただきました。また、地域を訪問しましても、皆様から「感動しました」「ありがとう」というお声をいただき、日頃から白山高校を支えていただいているので、少しでも皆様に喜んでいただけたと嬉しく思っています。また部活動の活性化につきましては、硬式野球部については大きな成果を残せましたが、その他の部活動においても、「次は自分たちだ」という気持ちで、各自の部活動に取り組む姿勢が見られるようになりました。広報活動につきましては、本来は学校から積極的に情報発信するものですが、今回は全国的なマスコミ報道となり、連日、テレビ等で本校が紹介されるという時期もあり、同時に地域のことも情報発信していただけたと思っております。そういったこともあったのかも知れませんが、本校へ他県からベンチマーキングにみえるということが、数回ありました。硬式野球部だけでなく、少子化の中で成果をあげた学校として、何らかの取組について教えてほしいというような、も

つたいないお言葉をいただきながら、ベンチマーキングに対応しておりました。このような状況を作れたのも、この学校活性化協議会で様々な御意見をいただけたからと思っています。本当にありがとうございました。

さて、前回の学校活性化協議会では、白山高校の現状と課題を基にして、活性化プランに基づくマネジメントシートについて御意見をいただきました。本日は、これまでの取組を御説明させていただき、これから何ができ、また何ができなかったのか、課題は何かなど、そういったところを御協議いただきたいと思います。今後、選ばれる学校づくりを進めるにあたり、学校としては一層の活性化を進めたいと考えておりますので、本日はそのような方向で、最後まで御協議の方、よろしくお願いいたします。

<欠席委員の確認>

白山高等学校PTA 岡田 偉久・・・所用のため、欠席
白山中学校PTA 服部 瞳・・・所用のため、欠席
嬉野中学校 中西 孝之・・・学校祭関係の行事で、欠席
津市商工会 青山 典生・・・他の会議と重なったため、欠席
高校教育課 岩崎 新一郎・・・他の会議と重なったため、欠席

2 確認事項

(1) 第1回白山高等学校活性化協議会について

- ・ 事務局より、第1回の会議資料について説明させていただきます。
- ・ 甲子園出場を通して、部活動における生徒の意識向上が見られました。
- ・ 津市のコミュニティバスについて、朝の時間帯において増発をしていただいたが、昼の時間帯においても増発をお願いしたいと思います。
- ・ 学校に行きたくなるような学校の雰囲気づくりができないか、学校として御検討をお願いします。

<質疑応答>

- ・ 特になし

(2) その他

- ・ 事務局・・・特になし
- ・ 委員・・・特になし

3 協議事項

(1) 平成30年度活性化プランに基づく進捗状況について

- ・ 活性化プランのマネジメントシートについて、説明させていただきます。
- ・ 今回は中間報告にあたるもの（4月～現時点）で、下半期に向けて、御意見等をいただきたいと思います。
- ・ まずは、「目指す姿」になります。「目指す学校像」については、学校マネジメントシートと同様の形となっています。ここでは、「地元」と「地域」という言葉の意味を分けています。定義として、別のものと考えています。
- ・ 「3年後にありたい姿」として、基礎学力を伸長する、社会性や自己有用感を高める、選ばれる学校になる、の3つを考えています。

- ・ 次に「活性化の方向性」については、授業改善を推進する、地域と連携した学びを推進する、部活動の活性化を推進する、地域に開かれた学校づくりを推進する、の4つを方向性として考えています。
- ・ 「平成30年度の具体的取組と評価」について、説明したいと思います。
- ・ 1つ目の「授業改善」については、授業のユニバーサルデザイン化に取り組みました。また、校内の教育課程委員会で、授業改善について具体的な内容を検討しました。「朝学」の内容の充実を目指しましたが、新しい内容については、これまで実施している教科以外の内容について取り組むことができませんでした。ソーシャルスキルトレーニングの導入を本年度本格的に行い、現在のところ実施回数13回となりました。1セット（人権・福祉など）4回で行い、年間を通じて6セットの実施となります。現在は3セットが終了して、4セットに入っています。最後に、生徒の授業満足度ですが、目標80%以上に対して、成果として69.7%となりました。
- ・ 2つ目の「地域と連携した学び」については、長期インターンシップ（普通科3年次）の受入事業所の拡大に取り組みました。現状、依頼件数6件で、3件は引き受けていただきましたが、受入事業所の数は厳しい状況にあります。校内の教育課程委員会でも、内容の充実について検討を行いました。外部人材を講師として招聘する取組は8件することができました。内訳は、家庭科が2件（食育講座1件、助産師講習会1件）、商業科が2件（総合実践の授業の中での講演で、講師：情熱リノベーションの小川さん・三重ジビエ認定解体処理施設の吉田さん）、福祉科が1件（介護に寄り添う演技体験講座）、進路指導部が1件（業種別就職学校説明会・就職進学講演会）、保健部が1件（命の講演会）、生徒指導部が1件（JRマナー講習会）となっています。
- ・ 地域の事業所や関係機関との連携による教育活動の推進については、5件となりました。内訳は、商業科が1件、福祉科が3件、インターンシップが2件（長期1件・短期1件）でした。
- ・ 長期インターンシップにおける新規受入事業所は、現在のところ、3件となっています。
- ・ 3つ目の「部活動の活性化」について、地域連携による部活動活性化に係わる協議を行ったのが、2件（校内の運営委員会で、甲子園の出場について）行いました。また、同窓会による部活動への支援のあり方について協議していただいたのは、3件（同窓会役員会・甲子園実行委員会）ありました。

- ・ 成果目標として、部活動加入率を70%以上にするでは、平成30年度当初で74.6%の生徒が部活動に加入しています。
- ・ 4つ目の「地域に開かれた学校づくり」では、学校が行う地域に対する生徒の活動や成果の情報提供数が0件でしたが、甲子園関係で情報発信はできていると考えていますが、学校からはありませんでした。
- ・ 地域の中学校教職員への授業公開を行うとともに、中学校の教職員から中学校およびその保護者に「個人的な学校見学」に係わる情報提供を行うことについて、授業公開は2件でしたが、現在のところ学校見学0回という状況です。今後、学校見学は11月から12月に増加すると思われます。また、学校説明会を行い、学校の様子や授業体験を7月と11月に行っています。
- ・ 地域の事業所や関係機関等と連携した取組では、連携件数が18件となりました。内訳は、まず総合的な学習の時間で、長期インターンシップを行っています。また、この校内講座で菊の栽培を行い、各事業所等（44事業所に配付して年々増加の傾向、県庁での展示もあり）に、菊を配付しています。福祉類型で3件（白山作業所・笑美の里・やまゆりの里）で、10月には健康の集い（一志病院）にも参加予定です。生徒会は0件でした。例年行っている地域の清掃活動である家城地区クリーン作戦が悪天候のため中止となったためです。吹奏楽部は4件です。白山中・美杉中との合同甲子園応援、つつじの里・笑美の里への慰問演奏会、サンクスフェスタへの参加です。今後も吹奏楽部の地域連携は活発になっていくと思われます。茶道部は3件です。桜祭り（君ヶ野ダム）、霧山薪能と茶会、健康の集い（一志病院）となります。商業部は、リバーパーク真見での白山フランク販売、津市物産祭りでのアサギマダラせんべい販売、カムカムフェスタでの白山フランク販売、そして、三重県高等学校産業教育フェアでも白山フランク販売する予定です。人権サークルは、白山高校生友の会への参加、白山キッズ学習支援ボランティアへの参加があります。硬式野球部が様々なボランティアへ参加していますので、他の部活動でも参加が期待されます。
- ・ 登下校における環境改善については、津市・JR東海・近鉄への要望を、今後予定しています。
- ・ 成果指標として、入学定員の充足率95%以上としています。年度末にならないと確定しません。
- ・ 中学生への調査で読み取ることができますが、中学生への7月調査では昨年度とあまり変わっていない状況です。昨年度は12月調査で91人がありました。例年、前期選抜の志願者数と12月調査が同数になる傾向があります。現状のままであれば、目標である95%を達成できるのではないかと考えているところです。

<質疑応答>

- ・ 今回の報告で、明らかになった改善課題と次への取組方向があれば、委員の皆様より御意見や御提言をいただきたいと思います。それでは、各項目ごとに見ていきたいと思います。
- ・ 1つ目の「授業改善」について、実際に授業の様子を見ていただいた感想をお願いします。
- ・ 授業公開日に見学させてもらいましたが、PTAの方にも、声掛けをしていただいているみたいですが、参加人数が少ないと思います。もっと来られてもいいかな

と思いました。今年度は全クラスを回らせていただきましたが、全クラスに共通して言えるのは教室の後ろの方が散らかっていることです。片づけをする習慣が身に付いていないと思います。また、授業中に寝ている生徒が多いクラスがあり、11名の生徒が寝ていました。公開授業で見られるということは、生徒も分かっていると思うのですが、自覚があるのかなと感じました。授業の内容に集中している生徒もおり、私たちも勉強になる内容のものもありました。なかなか、高校生の授業の中で完全に生徒に分かるように、また真剣に授業に取り組むようにするのは難しいと思うのですが、学習に対する意欲が必要だと感じました。

- ・ 授業者の方で、授業内容の改善について今後とも考えていきたいと思います。教室の美化については、学校の重点取組の中で、あいさつ・ルール・美化という3点を柱にしているので、改めて取り組んでいきたいと考えています。
- ・ 気になる部分として、授業の開始時に黒板が消されていないことです。授業の開始のけじめをつけるという意味でも、初めに言われてからするのではなく、授業を受ける姿勢になるようにしてほしいと思いました。また、先生方は授業に目標を設定するなど、工夫があると思いました。中学校の時には手を上げていなかった子どもが、積極的に参加している姿を見てとても嬉しかったです。また、休み時間に積極的に声を掛けてくれたのがよかったです。簿記の授業など、中学校の時になかった授業をみることができました。公開授業への参加者が少なかったこともあったのか、学校の校門が閉まっていたのが残念でした。
- ・ 授業における評価は、授業に参加している生徒の様子を評価するようにしています。生徒が積極的に手をあげることに繋がったりしているのではないかと思います。学校の校門は、防犯上の問題で生徒がいる間は開めるようにしていますが、今後、公開授業の時などは開けることを検討したいと思います。
- ・ 授業に熱心な生徒と、そうでない生徒とが極端に分かれていると感じました。公開授業でテスト勉強をさせるのは、公開授業の内容としてはそぐわないのではないかと思います。
- ・ 朝学の取組で新しい分野での取組については、どうでしょうか。
- ・ 中学校では、朝、読書の時間として取り組んでいます。
- ・ 生徒が授業を受ける時のマナー等も含めて、御意見をいただきたいと思います。
- ・ 教室の環境など、改善すべきことがあると思います。
- ・ 白山高校の教科書選定委員会に参加させてもらって、今の教科書はとても工夫されていて、学ぶ環境が用意されていると思いました。それなのに、寝ている生徒がいることはどうなのでしょう。授業満足度の中身についても気になります。今後とも、授業改善については工夫をしてほしいと思いました。
- ・ 2つ目の「地域と連携した学び」について、御意見をいただきたいと思います。
- ・ 長期インターシップにおける新規事業所の確保は、どうやって行けばいいのか難しいところがあると思います。
- ・ 去年も今年も生徒の受け入れをしています。年度当初は生徒とのコミュニケーションがとりづらいので、どうしても清掃活動等をしてもらっています。限られた時間なので、あまり体験をさせてあげられていないが、生徒と会話をしていく中で生徒とのコミュニケーションが深まっていくのを感じました。今後とも、受け入れをしていきたいと考えています。コミュニケーションや挨拶の仕方など、深めていけ

るよう、学んでいただきたいと考えています。

- ・ 見学をさせてもらいましたが、去年と比べて熱心に取り組んでいると感じました。就職などの実績も今年はお出てきており、良い方向に向かっていると思います。なかなか新規事業所の確保が難しいのは、交通手段の問題だと思います。このことについても、課題が多いと思います。
- ・ 長期インターンシップの事業所探しは非常に難しいです。来年度においては、現状としてとても厳しい状況です。新規事業所の確保について、御意見をいただきたいと思っています。
- ・ 1年間を通しては無理な事業所も多いと聞いています。何月なら、受け入れられるか、事業所の様子も探ってみてはどうでしょうか。
- ・ 1年間、どのような形で生徒を見てもらえるのか、事業所の状況も様々の状況なので、考えていきたいと思っています。また、事業所との関係を今後は深めていながら、何とかお願いしていきたいと考えています。
- ・ 3つ目の「部活動の活性化」について、お願いします。
- ・ テレビでも取り上げられ、白山高校で部活動を頑張りたいという生徒が増えるのではないかと思います。
- ・ 夏の甲子園出場が起爆剤になっていると思います。来年度、白山高校への志願者数が増えると思います。これが一過性にならないようにしなければならぬと思います。ここからが学校活性化のスタートにしなければならぬと思います。
- ・ 硬式野球部だけでなく、弓道部・陸上競技部など、成果を出している部活動もあります。学校としても、部活動へのサポートと校外へのPRをしっかりとしていきたいと考えています。
- ・ 他校においても部活動の維持が難しいと思います。高校に行ったら、こうやって頑張れることを今回、感じたと思います。白山高校の3クラスでは、部活動を維持していくのは厳しいと思います。魅力ある部活動として、桜ヶ丘高校のクイズ研究部等の活動もありますので、色々な部活動に力を入れていってはどうでしょうか。
- ・ 今回、部活動を維持していくには、部活動を継続していくことが大事であることを再認識しました。
- ・ 4つ目の「地域に開かれた学校づくり」については、どうでしょうか。
- ・ 地域での行事には積極的に参加していますが、もっと幅広く、様々な部活動が参加していくよう、進めていきたいと思っています。現在、特に対策はしていませんが、次第に広がっている傾向にあると思います。
- ・ 今回、中学生も甲子園に連れていってもらい、子どもたちも貴重な体験ができたと思います。なぜ白山高校が勝てたのかを話し、よい話題をもらったと思っています。
- ・ 今回のことは、地元の中学校との連携もでき、中学生にとっても良い経験になったと思っています。
- ・ 登下校の環境改善については、どうでしょうか。
- ・ コミュニティバスの路線の見直しをしていくよう、市長からも課題は出ています。この地域のコミュニティバスの一番の利用者は、白山高校の生徒であると思います。地域のためにあるコミュニティバスをどのように白山高校と棲み分けていくのか、どのように考えるのか、旧津市の地域を超えた路線の見直しを、今後は検討してい

くよくなると思いますので、検討していきたいと思います。なるべく乗ってもらえるようなバス路線にしていきたいと思います。白山高校の生徒も利用しながら、地域交通としても考えていきたいと思います。今すぐという訳にはいきませんが、今後考えていかなければならない課題です。コミュニティバスとしては、考えていかなければならない現状があります。運転手の確保が、今の大きな課題です。白山高校にも有益な形になるよう考えて行く予定ですので、よろしく願います。最後に昼間の時間帯の増発というのは、現時点では難しいと思います。

- ・ 津まつりで、名松線を活性化させようというようなイベントを、白山高校の生徒がしてはどうですか。また、三重国体や障がい者スポーツ大会においても、高校生ボランティアとして、積極的な参加をしてほしいと思います。
- ・ ボランティア活動への参加は、子どもたちにとっても貴重な体験になると思います。
- ・ 生徒が自分たちの日常から離れすぎると、ボランティアには行きづらいのではないのでしょうか。
- ・ 今年度の高校総体は、どのような参加状況だったのでしょうか。
- ・ 甲子園出場の関係でキャンセルした部分もありますが 一部の教員の参加と バレー部員の参加はありました。
- ・ 私立高校ではボランティア部などがあり、積極的に参加して、活動をPRしているのではないのでしょうか。

- ・ ボランティア活動は、最近では三重大学でもしているようです。人手が必要になると、様々な団体をお願いをしているようです。高田短大なども、そのような形で参加しているようです。
- ・ 本校にはボランティア活動に特化した部活動はないが、今後どのような形で参加できるか、PRできるかを考えていきたいと思います。白山高校を選択して来てもらえるように、学校の活性化を目指していきたいと思います。

(2) 県外からの入学志願制度について

- ・ 入学者選抜実施要項に記載されているように、学校としては進めていきたいと思えます。
- ・ 昨年度、本県として大きな動きがあり、保護者の転住を伴わない県外からの入学志願制度ができました。学校として5%という上限が定められており、前期3名・後期3名以内であれば、県外から保護者の転住を伴わない場合でも、志願できるようになりました。
- ・ 入学者選抜制度の中にある「スポーツ特別枠選抜を実施する高等学校および全国大会に出場した硬式野球部を有する高等学校」にも、手を上げてみてはどうかなど、現在検討をしているところです。
- ・ 現状では、愛知県から来ている志願者が多いです。
- ・ この場で御意見をいただき、学校の方で判断していきたいと考えています。

(3) その他

- ・ 事務局・・・特になし
- ・ 委員・・・特になし

4 連絡事項

(1) 第3回活性化協議会

- ・ 第3回会議は、平成31年2月22日（金）19：00から開催します。本年度における最終的な御意見など、いただくことを予定しています。1年間のまとめの会議となりますので、御出席の程、よろしくお願いします。

(2) その他

- ・ 事務局・・・特になし
- ・ 委員・・・特になし